

大学院学校教育研究科【専門職学位課程】

現職教員を対象に、地域や学校における指導的役割を果たし得る教員等として不可欠な確かな指導理論と優れた実践力・応用力を備えたスクールリーダーや地方分権化の中で、ますます重要性を増している地方教育行政のリーダー（教育長，将来の教育長候補および教育行政幹部）を養成している。

また、学部段階で教員としての資質能力を修得した者の中から、さらにより実践的な指導力を備え、新しい学校づくりの有力な一員となり得る新人教員を養成している。

なお、社会の求める多様なニーズに応えるため、特色ある教育プログラムを開設している。

- ・理数系教員養成特別プログラム
- ・コア・サイエンス・ティーチャー（CST）養成プログラム
- ・小中連携教育プログラム
- ・小学校理科専科プログラム
- ・研究力向上特別プログラム

〔教育課程〕

1 授業科目の区分と内容

区 分	内 容
共通基礎科目	<p>学校現場における中核的・指導的役割を果たし得る教員の基盤となる領域として、次の5領域を設定し、開設する。</p> <p>(1)「教育課程の編成・実施に関する領域」 (2)「教科等の実践的な指導方法に関する領域」 (3)「生徒指導，教育相談に関する領域」 (4)「学級経営，学校経営に関する領域」 (5)「学校教育と教員の在り方に関する領域」</p>
専門科目	<p>具体的な事例に関する知識を、基礎理論を基に構造的，かつ体系的に捉えることのできる資質・能力を通じて、学校現場の諸課題等に取り組むことのできる実践研究の力量を育成する。そのため、科目設定にあたっては、各コースの特色や指導目標に沿って、各学生の関心領域に応じた科目や、学校現場等における今日的課題を設定し、その解決の研究に必要な、学問分野の枠を越えた科目として設定し、開設する。</p>
教育実践研究科目 ／リフレクション科目	<p>自らの経験・問題意識を踏まえ、学校現場の諸課題等について、解決・探究するための実践的な研究を計画し、実施するための高度な専門的力の育成を目指し、専攻・コースごとに開設する。</p> <p>リフレクション科目については、学習指導や生徒指導等の日頃の学校現場での教育実践を客観的・科学的に検証し、教育実践の改善につなげることを目指し、授業実践課題探究コースで開設する。</p>
外国人留学生専門科目	外国人留学生（国際貢献型）に対する授業科目として開設する。
実習科目	<p>実践的指導力の強化を図るため、学校や教育行政現場等の教育活動等全体について総合的に体験し、考察するために各専攻・コースごとに開設する。</p>

2 各コース別・授業科目の区分別の履修方法

コース名	共通基礎科目	専門科目 (自コース) (教育実践院科目)	実習科目	合計	最低修得単位数
学校経営コース	10	24	10	44	46
教育方法・生徒指導マネジメントコース 言語系教科マネジメントコース 社会系教科マネジメントコース 理数系教科マネジメントコース グローバル化推進教育リーダーコース	10	18	10	38	46
小学校教員養成 3年制コース	10	16	12	38	46
特別コース 2年制コース	10	14	14	38	
教育政策リーダーコース	12	24	10	46	46

※ 合計欄に掲げる単位数「38単位」（学校経営コースは「44単位」）と最低修得単位数との差の「8単位」（学校経営コースは「2単位」）は、共通基礎科目、専門科目（自己が所属するコース以外で開設する専門科目（他コース）を含む）及び実習科目のうちから修得するものとします。（教育政策リーダーコースを除きます。）

※ 小学校教員養成特別コースに所属する学生が修了するためには、上記の修了要件に加え小学校教諭専修免許状の所要資格を得るための単位を修得しなければなりません。

コース名	共通基礎科目	専門科目		実習科目	合計	最低修得単位数
		(他コース)	(リフレクション科目)			
授業実践 課題探究コース	32		4	10	46	46

※ 共通基礎科目については、各領域から所定の10単位を修得するものとします。

※ 修士課程で開講する他専攻科目については、10単位まで修了に必要な単位数として算入できます。